

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2021 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

プログラムの訂正は、各府県まとめて 8 時 30 分～9 時 00 分までに本部まで届けること。

2020年12月より改定されたWAのシューズ規則が適用され、靴底の厚さは20mm以下（ただし800m以上のトラック種目と三段跳は25mm）とし、一次招集時にスパイクチェックと同様にシューズ計測を行う。特に投てき種目のアップシューズでの出場には気を付けること。20mmを超えるものは使用できない。

靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3) 表

種 目	靴底最大の厚さ TR5. 5、TR5. 13. 3	要 件 ・ 備 考
フィールド競技（除：三段跳）	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

1. 競技場への入場について

- (1) 競技者・付添等関係者の最初の入場は、1 F 正面玄関のみとする。
- (2) 退場は、マラソングートと南西ゲートを使用すること。再入場はマラソングートからのみとし、入場は当日配布する入場許可証を提示すること。
- (3) 無観客競技会として開催するので、正面 2 F メインスタンド入口は開放しない

2. 練習について

- (1) 練習は、バックスタンド後方（東側）の練習走路を使用。すること。走る方向は、北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブなどを使ったスピード練習は禁止する。
- (2) バックスタンド後方（東側）の練習走路でのハードル練習は禁止し、競技開始前のハードル設置後に行うこと。
- (3) 競技開始前のトラック練習は、競技開始の 30 分前までとする。
[ホームストレート・バックストレート]
○1・2 レーン=長距離周回練習 ○ジョグ=レーン外
○3～5 レーン=コーナーからのスプリント練習 ○6～9 レーン=直線からのスプリント練習
※順番待ち等は、密を避けるように距離を保って行うこと。
- (4) 競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。
- (5) 競技場内・公園内ともメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止する。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (7) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

- (1) 開門時刻から競技開始1時間前(棒高跳のみ1時間30分前)までに「**体調管理チェックシート**」を屋内練習場内に設ける競技者受付に提出し、アスリートビブスと競技で使用するシューズ(スパイクの他、ランニングシューズを含む)の確認を受けることで、一次招集完了とする。
- (2) 二次招集は現地招集とし、現地招集時間はトラック競技15分前開始10分前完了、フィールド競技40分前開始30分前完了とする。(棒高跳のみ70分前開始60分前完了とする。)
- (3) 一次招集に遅れた競技者は、欠場するものとして処理する。
- (4) やむを得ず欠場する場合は、できるだけ速やかに競技者係へ欠場届を提出すること。
- (5) 点呼の代理は認めない。但し、複数種目の出場がある場合は「体調管理チェックシート」に、すべての種目を記入し、最初の種目の一次招集を完了することで、その後の種目の一次招集も兼ねることとする。ただし、同時時間帯に競技が行われる可能性がある場合は、「多種目同時出場届」を屋内練習場内に設ける競技者係まで提出すること。

4. リレーのオーダー用紙提出時刻について

競技開始時刻の90分前までに競技者係へ提出すること。

競技開始60分前にはスタートリストを大阪高体連3・4地区WEBページに掲出するので、オーダーの確認を必ず行うこと。

4×100mのマーカ―は、競技終了後、必ず自チームの前走者が取り除くこと。

5. 競技について

- (1) 当該種目出場者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- (2) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。男子5000mWと女子5000mWは別ナンバーカードを使用する。
- (3) トラック競技では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (4) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く(少なくとも長さの半分)で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (5) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (6) 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げ等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (7) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。
- (8) フィールド種目は、トップ8を行う。
- (9) フィールド競技の試技時間は次のとおりである。

○単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する

- (10) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は跳躍審判員の指示による。

- (1 1) 跳躍種目 競技場所および踏切板位置について
走高跳は、第一曲走路内側 (A ゾーン) で行う。棒高跳は、第二曲走路外側の北ピットで行う。走幅跳および三段跳は、正面スタンド前ピットで行う。
※踏切板位置 (砂場から) 男子三段跳・・・12m 女子三段跳・・・10m
- (1 2) 投てき競技は第二曲走路内側 (B ゾーン) で行う。
- (1 3) 助言エリアはスタンドの最前部から後方 2m とする。競技エリアには立ち入らないこと。
- (1 4) 投てき競技と棒高跳の滑り止めは、主催者で準備しないので個人で持参すること。
- (1 5) 男女 5000m 競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合フィニッシュ地点で競技を中止させる。男子・・・30 分、女子・・・35 分

6. 競技用具について

- やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- やりの検査受付は、競技開始時刻の 90 分前より 60 分前まで、用器具庫前で行う。

7. 表彰について

- 各種目第 3 位まで表彰する。賞状は、正面玄関中央エントランス表彰係まで取りに来ること。

8. 競技場の使用について

- (1) 無観客での競技会とします。保護者の入場はできません。また、各校で委託した写真業者等も入場できません。可能な限り身体的距離をとること。また、声を出しての応援は禁止します。
- (2) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- (3) テントの設置について
 - ① 競技場メインスタンド中央通路より上段、芝生スタンド後ろ半分・バックスタンド前 3 列分あけてテントは設置してください。なお、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
 - ② 競技場の外にテントを張る場合、樹木保護のため、杭打ちおよび木の枝に紐を括り付けないこと。またテント内を幕で囲むことも禁止とします。
- (4) 横断幕、のぼり・部旗等について
 - ① 横断幕・のぼり・部旗等は全て、場所取りで割り当てられた場所の後方のみ可能とする。
 - ② メインスタンド、サイドスタンド、バックスタンドの前方手すりおよび中段手すりは使用してはならない。
- (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (7) 更衣室は 10 名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用のうえ会話しないこと。使用時間は 1 人 5 分以内とする。また、清潔に使用し、私物を置かないこと。
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路に従って移動すること。また、通行禁止や使用禁止の掲示のある場合は、厳守すること。

9. その他

- (1) プログラムは、配布しないので各校で、大阪高体連陸上競技専門部 3・4 地区 WEB サイトより印刷し準備すること。
- (2) プログラム記載の個人情報 (氏名、学校名など) および大会結果は、大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部 3・4 地区 WEB サイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。
- (3) 記録は、電光掲示板および WEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)
- (4) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (5) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (6) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (7) ゴミは各自持ち帰ること。